

【ポスター発表】

「Cosmic Social Work」の構想

— 「存在」「生きること」「つながり」への新たなアプローチの構想—

○ 北海道大学 氏名 高橋 賢充 (会員番号 008256)

キーワード：包摂、人間理解、Cosmo (調和・秩序・完全・宇宙などの意味を含む)

1. 研究目的

医療、保健、福祉、教育、行政など様々な対人援助の専門職は、日常的に専門的知見としてそれぞれのアイデンティに基づき人々を支援している。対人専門職は、人を支援するという日々の業務において、一人ひとりの人としての「存在」の意味について向き合い、意識し支援することで、質の高いサービスを提供している。

近年、欧米や日本をはじめとする民主主義を基盤とする社会においては、人々の価値はさらに多様化し、それらの人々を包摂するためのシステムが必要とされている。そのためには、一人ひとりの「存在」の意味を再検討し、新たな視点を見出すことが必要であると考える。また、国際化された現代社会においては、個人の生活の問題と国際情勢が密接に関係するようになってきている。経済は他国との貿易なしには成立しないし、政治体制が異なる国との摩擦がそれぞれの人々の経済生活や安定に大きく影響を与えている。日常生活における安心と人類全体の平和は切っても切り離せない時代であることを考慮せざるを得ない。本研究では、人々の日常生活の平和を実現していくために、改めて人の「存在」について再検討し、新たなパラダイムの構築のためのさらなる基礎理論を構想するものである。

2. 研究の視点および方法

本論は、現代科学の成果と人類がこれまでの歴史の中で培ってきた民族固有の経験的知見を繋ぎ合わせ、新しい人間理解のパラダイムを発見し創造することにより、人々の日々の争いや戦争、貧困、差別、排除、テロなどといった負のループから解放することを最終的な目標とする理論の仮説を構築する。特に西欧社会や日本で発展してきた最新の科学的成果の知見と、科学によらない古代から続いてきた民族固有の経験的智、及び東洋で培われてきた伝統的価値とを統合した理論を創造し構築することによって、全世界に共通する新たな価値を生み出すことが、現代社会の喫緊の課題に応える有効な方法であるという仮説に基づき論を展開する。

上記のような最新の科学の成果による人間理解の視点及び人類が培ってきた伝統的・民族的知見を再統合し繋ぎ合わせる作業を行い、新たな全人類に共通した人間相互理解の視点を提案するものである。

3. 倫理的配慮

本論は、一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理指針に準拠した。

なお、本論では個人情報を取り扱っていない。

4. 研究結果

これまでソーシャルワークを代表するような対人援助実践は、エコロジカルかつジェネラリストの視点に立ち行われてきた。この実践は、20世紀の人類にとって大きなパラダイムの転換の一つの大きな成果であった。しかしながら現在の社会情勢を見る限り不十分である。現代社会に蔓延している人間関係の希薄化、孤立、憎しみや欺まんなど、負のループが顕在化してきた社会情勢の中で、多くの国家や民衆の価値観は大きくゆらいでいるからである。今や一国のみで平安な社会を維持していくことは不可能であり、安心安全な私たちの生活を維持していくためにグローバルな共通の価値を共に見出していく必要性にせまられている。あらゆる人々が、一人ひとりの尊厳に「気づき」、一人ひとりの存在を相互に認め合うことの重要性を理解するための「包括的・包摂的 (Cosmic)」な学びが必要である。人々に必要なのは、科学的かつ各民族固有の経験智を統合し包括した新たなパラダイムや知恵が必要であることに気づき、それを意識へと昇華させていくことである。すべての物事・事象が全世界の一人ひとりの日常生活に密接に「つながっている」ことを理解するための人間の存在理解のパラダイムと、そのための理論の構築が必要なのである。

私たちは、この世界に存在する物は実際に実存として「存在」するよう感じているが、最新の素粒子物理学の研究成果によると、この世界にある物質すべては「無」から生じているということがわかってきている。人が「存在」しているということは一体どういうことなのか、人の「存在」について科学的にも再考する必要があるのだ。人類が自然の構成物として共存し存続していくためには、まったく新しいパラダイムを導入せざるを得ない。そのためには、物理学等を含む最先端の諸科学の成果・知見も導入することが重要となるのである。

5. 考察

本論では新たな人間理解を通してのソーシャルワーク理論の構築を目的とした。不完全ではあるが、新たな視点での人間の「存在」と「価値」を学ぶための導入であると同時に、将来的には医療・保健・福祉・教育、行政機関などの対人援助職への共通の人間理解のガイドラインとしたい。すべての人々の営みに直接的に関係する「尊厳」と「平和」、「社会正義」、「調和」を実現するための重要な視点を提供することになるからである。一人ひとりの生活を安心なものとし、また国家間の関係においても影響をもたらす人間理解のアプローチのための理論であるとした。人類のあり方についてミクロからマクロをも包摂する「Cosmo」の視点をもたらすものである。

今後の課題としては、より理論的に構成し科学的視点を整理しなおし説得力のある理論を構築するべく研究を深めていくこととしたい。